



# 啓明小だより

中野区立啓明小学校

校長 鈴木 栄子

〒165-0034 東京都中野区大和町 1-18-1

電話 03-3330-2325 FAX03-3330-2326

ホームページ

<http://nk-keimei-e.la.coocan.jp>

No. 546号 1月号 発行 令和2年1月8日

## あけましておめでとうございます

校長 鈴木 栄子

### 初日の出 しだいに見ゆる雲静か

明治の文豪 夏目漱石が元旦に読んだ俳句です。今年の元旦は少し風が強かったものの穏やかな日となりました。漱石がこの句を詠んだ年は初日の出ののち、ゆっくりと静かに雲が動いていたのでしょうか。穏やかな元旦だったことが想像されます。令和2年も、子供たちはじめすべての皆様にとって、穏やかでよい一年となることを願います。

さて、2020年、東京オリンピック・パラリンピック開催年を迎えました。暑い夏の大会となりますが、大会に向けて幾多の方々が準備に、そして競技に人生をかけた選手は練習や自分自身との戦いやチーム作りに余念がないことと思います。みんな頑張れ！

ところで、オリンピックというと、私は1964年の東京オリンピックを思い出します。小学校2年生だった私にとって、記憶の奥に消えることない大会です。家に帰ったら、テレビがありました。あの頃は、テレビのある家は少なく、ラジオ中心の時代でした。子供向けのラジオ番組「お話出てこい」は、「どんどこどん・・・」という歌にのって、お話が始まりました。「音楽の泉」というラジオ番組では、たくさんの名曲が解説付きで流れていました。ニュースもラジオから耳で聴いて知る、そんな時代です。1964年のテレビは、映画館が突然家の中に入ってきたような感じでした。オリンピックを機に音や音声のラジオの時代から映像のテレビの時代へと移っていったのです。

テレビで写されたオリンピック、東洋の魔女と言われた強い女子バレーボールチームが背の高い外国のチームと繰り広げた熱戦、体操のチャスラフスカ選手の優雅な演技、マラソンの円谷選手が苦しそうに走ってとった銅メダル、その遙か前を走っていたアベベ選手は、金メダルを取った後「真の強敵はライバルではなく、自分自身だった。」と言っていました。開会式ではブルーインパルスが大空に五輪を描いていました。ブルーインパルスが見たくて、オリンピックが終わって少し経ったとき、入間で開催されたブルーインパルスのショーに、満員の電車に乗って家族で行ったこともありました。すべての競技が終了してオリンピックが終わると、学校からみんなで先生に連れられて近くの大きな高校まで「オリンピック」という映画を見に行きました。マラソンの選手が走り終わった後の血豆だらけの足の裏の映像には、友達と、「うおー！」と思わず叫んだことも覚えています。これらの自分の目で見た記憶はどれも映像とともに残っています。オリンピックの記憶は断片的ですが、小学校2年の私の中で一貫していたことは「いろいろな国の強い選手たち（見て知ったこと）」「競技を終えた不思議なほど仲良くなった閉会式（見て知ったこと）」「これが平和の祭典（見て感じたこと）」ということです。

2020年、オリンピック・パラリンピックが再び東京にやってきます。穏やかに迎えた今年の元旦に象徴されるような、穏やかな世界の平和の祭典が、私たちの生活しているこの東京で行われる日を子供たちと共に待ち、世界の平和の重要性を共に実感したいと思います。

昨年末は、私の体調のことで、皆様には多大なるご迷惑・ご心配をおかけしたにもかかわらず、多くの皆様から心温まる励ましのお言葉をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。啓明小学校では、今年も子供たちの健全な成長を願い応援して参ります。今後ともご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 1月の生活目標

### 「自分のからだを守ろう」

生活指導部 齋藤 瑠璃子

1月の生活目標は「自分のからだを守ろう」です。12月は風邪や熱などでお休みする子が多くみられました。1月、2月と寒い時期がまだまだ続きます。自分のからだを守り、健康に過ごすことができるよう①手洗い・うがいをする、②晴れた日は外遊びをし、丈夫な体をつくる、③こまめに教室の換気を行うことを心がけていきたいものです。1月9日から持久走旬間が始まります。寒さに負けない体をつくる良い機会ですので、思いきり体を動かすとともに、汗をかけたときはタオルで拭いて風邪をひかないよう各学級で指導してまいります。